

平成 30 年に中央教育審議会が示した「教育振興基本計画」の中では、健やかな体の育成として、「生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力を育成する」の目標とともに、学校保健の充実が示されました。

養護教諭はこれまでも、学校保健の中核的な役割を担ってきましたが、学習指導要領の改訂、子供を取り巻く健康課題の多様化を受け、教職員や家庭・地域の専門機関とも連携・協働を高めた取組がより求められています。

そこで、瑞星第 12 号の実践事例集は、編集テーマを「今、求められる学校保健の推進～連携・協働を高める養護教諭の役割～」とし、専門性を発揮しつつ、効果的な学校保健の活動を推進している全国の仲間の 21 実践を紹介いたします。

「瑞星」第 12 号の目次

発刊によせて 全国養護教諭連絡協議会 会長 浅野 明美
あいさつ 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
健康教育調査官 松崎 美枝



I 実践事例集

第 12 号 実践事例集テーマ

- 1 保健教育
- 2 保健管理

II 活動の歩み

- 1 調査・研究活動
平成 30 年度養護教諭の職務に関する調査
- 2 研修会
(1) 第 22 回研修会記録
(2) 第 23 回研修会記録
- 3 研究協議会
(1) 第 24 回研究協議会・フォーラム記録
(2) 第 25 回研究協議会・フォーラム記録

瑞星第 12 号

令和 2 年 12 月 25 日発刊

価格 1,500 円（送料別）

[ご希望の方はこちらから](#)

III 全国養護教諭連絡協議会の動向

沿革年表 令和元年度 令和 2 年度

事例執筆者名簿

編集後記

編集委員一覧

役員一覧